

一期一会

立川市立
中学校
3年A組

私たちの学級目標は、「水滴石穿」です。この目標を達成するために、三つの合い(愛)〜高め合い・認め合い・鍛え合い〜を大切に、授業や行事などで一歩一歩目標に近づけていきました。

何を意識してきたか

行事では、運動会や文化祭の少ない時間で、1・2年生に分かりやすく説明するため、3年生の中で何度も確認し、最後まで高め合えた。また、今年は見に来てくださった方々が愉しんでもらえるようなものを計画した。そのために、みんなで意見を出し合って最高の行事を創り上げることができた。

<学級目標>

水滴石穿

個人目標の柱(後期)

- ☆ たくさんの人から応援される人になる! (佑 奈)
- ☆ 受験生として、自分を甘やかさず、厳しく自分を意識する。(伶 奈)
- ☆ 自分に厳しく、3年生として、周りを見て行動! (梨 恋)
- ☆ 何事にも全力で取り組む。(航)



とにかく考えることを大切にした。その結果、何事にも「最後までやり通す力」が身についた。

学級はどんどん成長中!

一番大きかったのは、修学旅行を通して、みんなで協力して2日分の自主研修を一から考えたり、その行程を調べる中で、何度も話し合ったり、それぞれ考えた案をできるだけ認め合いながら準備を進めることができ、互いに高め合うことができ

一人ひとりが成長中!

それぞれも、成長したことを実感できるようにしてきた。
・1・2学期を振り返り、成長した点を振り返ってみた
・数学の授業で、分からないところを、授業後や放課後に諦めずに学習を続けられ

た。さらに、1学期で部活が終了したこともあり、勉強面では、2学期から放課後学習(部活動の時間帯)のため全員で残ることになった。
1時間ちよつとの時間、まず各自が自分でやることを考えて机に向かう。後半は、みんなで教え合い、見に来てくれた先生方に、積極的に聞いて少しでも分かるように鍛え合っている。(伶奈恋)

また、修学旅行を控え、3年生の「知愛」(総合的な学習の時間)のまとめの中で、沢山の人と関わりながら学んだことを活かして活動することができた。
特に、「浦幌町のF anを増す」を目標に掲げ、課題を見つけ、

自分たちでアイデアを考え、修学旅行の中では、たくさんの人たちに浦幌町をPRしたり良さを伝えることができた。みんなで分担し、最後までコツコツと努力して成果が出た。(梨恋)



入学願書の下書きでも緊張しました!

受験に向けて全員で取り組む

11月に三者面談が終了し、全員の希望校がはっきりした。そして、12月に入って、願書の下書きに入った。今まで以上に「受験生」という意識が強くなってきた。だから、受験生として冬休み



3年生の学級通信の題名は「俺たちの旅 23」です。毎日手書きで通信を作ったり、写真を使って物語を作ってくれるのが面白くて読むのが楽しみです。そして先生が書いてくれる習字の言葉を見て、勇気をもらっています。さらに、自分の悪い点などを気づかされたこともありました。また、一枚一枚、違う名前が書かれていたり、私たちが今年から始めた

『俺たちの旅』23

3年生学級通信



朝の会での「朝のニュース」も毎日載せてくれています。勉強のやり方やアドバイスも書いてくれているので、新しい勉強の仕方や違った勉強方法を試すことができません。 (梨恋・伶奈・佑奈・航)

今日は、何が出てくるかなあ。あ、私だ!

三学年のテーマ



浦幌町のファンを増やそう!

私たちはまず、浦幌町役場の方から浦幌町のふるさと納税などについて学んだ。その中で私たちは、特に返礼品に着目した。浦幌町のふるさと納税返礼品を食へ物で分類すると、食品関係では第一次産業と加工食品に分けることができ、その他で



返礼品から分かったこと

- ・じゃがいもや玉ねぎが人気
- ・品切れのものが多く
- ・町の活性化や子供たちの成長を願い寄付

2年間の学びを發展させ3年生での探究に活かす

1学年では、町内を周ったり、講話を聞いて地域再発見、地域の魅力、課題発見をテーマにSDGsを中心とした学習を進めてきた。

浦幌町を見つめてみると、資源が豊富、10年後を見据えた町づくりを行っている魅力があげられる。また、課題としては、人口減少があげられていた。そして、昨年度、1年次で学んだことを活かして浦幌町外に学びを広げ、宿泊学習との連動を通じて、上土幌町へ。ここでは環境に優しいおがくすを利用して着火剤づくりの体験をした。

また、新得町では、資源を大切にする取り組みとしてワークショップを行ってきました。さらに、ラフティング体験をする中で、環境・特に自然を利用した取り組みについても知ることが出来た。

2年間の学びから、このような取り組みを浦幌町でもできないのかと考えた。自然や浦幌町の良さを活かした取組を通し、もっと沢山の人に浦幌町の魅力を知ってもらいたい。こうした取組が出来れば、SDGsにも貢献できるのでないかと考えた。

そこで今年度は、これまでの学びや修学旅行の機会を活かし、「浦幌町のファンを増やすこと」をメインテーマにして、更に深い学びに広げた。(佑奈)

は加工製品と体験の二つに分けられた。

食べ物

加工食品

- ・きな粉
- ・アイスクリーム
- ・韃靼そば
- ・ジンギスカン
- ・まめこの旅 など

第一次産業

- ・とうもろこし
- ・鮭
- ・じゃがいも
- ・玉ねぎ
- ・黒毛和牛 など

更にふるさと納税のサイトを見てみると、この中には特にじゃがいもがランキング上位を占めていたり、タマネギ、ジンギスカンが特に人気で、品切れになっているものも多々あった。この食品に関わる返礼品では、上浦幌地区の方々が関わっている「きなこアイスクリーム」や「韃靼そば」、「とうもろこし」といった

情報を探って考察

私たちは、役場の方からの情報、そして、ふるさと納税と関わりのある「楽天」からも情報を収集した。

品も多く含まれていた。返礼品に私たちの住む「上浦幌地区」の関わりが多くなっているようだったのでわかり、嬉しくなってきた。(佑奈)

課題発見と新提言 ☆

から浦幌を知る

コメント1

浦幌町の返礼品の中でも野菜が人気のようだね!

味付けが人気の秘密! 浦幌町産の行者にんにくで味付けがされているジンギスカンだ!

・町の活性化や子供達の成長を願って寄付している人が多いため、以上のことを知ることができた。(佑奈)。

・「納税の使用目的として、

・じゃがいもやタマネギ、ジンギスカンが特に人気なこと。

・とうもろこしや鮭、浦幌和牛が特に品切れになっていること。

・人気ランキングでじゃがいもが1位になっていること。

更に、「寄付金の使い道」に関するコメントでは、「自然保護や、現地の子供達に対して使ってほしい」というコメントが絶えなかった。(コメント③)

最後に浦幌町の平成20年

次に、町のホームページから、浦幌町の「ふるさと納税返礼品」の「人気商品」に寄せられたコメントと、「寄付の使い道」について書かれたコメントを分析した。

コメント2

十勝(浦幌)産のカラマツを使ったパレットが人気のようだ!



まず最初に、浦幌町産の「行者にんにく」味つけがされているジンギスカンと、浦幌町の野菜には多く寄せられている。このことから満足度の高い事が分かる。(コメント①)

次に、十勝産のカラマツを使用したパレットについて、十勝産のパレットは、返礼品人気ランキングベスト4に入っている。納税者の多くは、SDGsの点からも良質なパレットがほしいと言っており、満足度がうかがえる。(コメント②)

令和4年の「ふるさと納税の件数」と「推移」をグラフにして比較してみた。平成20年から26年まで徐々に伸びてきたふるさと納税だが、納税内容の改正などによって29年度は過去最低まで落ち込む。それでも令和2年度は、平成28年度と同じくらいには回復しましたが、それでも「納税件数」はこの3年間で減少。しかし、「納税額」は、過去一番の伸びとなり、3年間少しずつ伸び続けていることが分かった。(航)

寄付金は自然の保護に使ってほしいという意見も多いね!



ふるさと納税と返礼品は?

私たちは、八月末の修学旅行を活用して、二子玉川にある楽天クリムゾンハウスで、まず2つの学びを深めてきた。当日は「楽天が目標とすること」、「ふるさと納税など」について、楽天に勤める藤田さやかさんに講話をしていただき学びを深めた。(佑奈)

楽天クリムゾンハウス



改めて、いうこと。人口減で税収が減った市や町が存続の危機に直面することから、その地域にふるさと納税を寄付することで、地域を救おうというのが目的なのだそう。だから「ふるさと納税」は、日本を元気にする、国を挙げたイノベーションでもあるのだ。ふるさと納税をすることで得られる利益として、4つがあげられていた。

- 1 寄付による税収のアップ。
- 2 返礼品を提供することで、地元事業者の売上アップ。
- 3 特産品や観光地を多くの人に知ってもらうチャンスを作る。
- 4 地域の人々が元気にならう。

楽天で職場体験

まず、楽天が目標に掲げていることは、「イノベーションを通じて、人々と社会をエンパワーメントする」ということ。イノベーションとは、「できないを出来るに変える」ということ、エンパワーメントとは、「社員一人ひとりが持つ力を、最大限に引き出すこと」だ。この目標を中心として、多くの人の成長を後押しすることで社会を豊かに出来るよう、活動を行っていた。

また、楽天には約32万人の従業員がいるらしく、世界100以上の地域から楽天に集まっております。また、30か国、そ

ふるさと納税の目的

財政難の日本各地の市や町を救うため

人口減で税収が減った市や町が存続の危機に

手作りのパンフレットと返礼品サンプルを使ってPR活動!

PR活動



オリジナルパンフレット使用!!



浦幌町をPR!

浦幌町について知ってもらうべく、楽天に勤める社員の方に浦幌町のPR活動を40分間行った。

その中で浦幌の今後に活かすデータを収集するためアンケートもさせていただき、計20名の方に協力してもらえた。



ふるさと浦幌へ

ふるさと納税&返礼品

考察

興味をもってもらえた!! 移住を考えてはいない?



の補助若者の定住増加・観光」がほぼ同じくらい割合になったA1。その中でも、浦幌町の観光に興味をもってくれた人が多くいることが分かったが、移住を考えている人は少ないと考えた。

次に「興味のある返礼品は?」の質問に対して、農産物・海産物でほぼ半数をしめ、体験・宿泊・生活用品と続いたA2。そこから、浦幌町の食料自給率が高いということを知ってもらえたこと、更に、海産物も多いうことで、浦幌の一次産業に興味をもっているということが改めて分かった。

また、少数ではあるものの、「体験」や「宿泊」もあげられていた。これら結果から「この分野」をPRしてみても良いのかと考え、新提案に結びつけた。(梨恋)

町の未来のために提言

三年間の学びや考察から新たな課題を考えた。

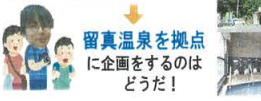
- ① 様々な種類の返礼品があるの、それをもっと沢山の人が知ってもらうために、魅力をPRする。
- ② 返礼品の開発のために、「浦幌らしさ」を出し、体験型を通して、来町してもらおう。

この2つが、今後の課題だと考えた。

そこで、「留真温泉を拠点にするプロジェクトをつくる」のが良いのではないかと、という考えに至り、次の3つを提案したい。

浦幌町を活性化!!

浦幌町のファンを増やそう! 浦幌町全体を活性化させ観光客を増やす



留真温泉を拠点に企画するのはどうだ! この取組は、今年度もスタートした新しい試みだ。誰でもより手軽に「ふるさと納税」ができ、実際に体験したときに寄付することが出来るため、寄付も継続化され、浦幌町も活性化するのはないかと考えた。(佑奈)

また、バスホムを作ることに、温泉に入ることで、より楽しみになり、ワクワク感も生まれ、子供からの人気も出るのではないかと考えた。

これら結果から「この分野」をPRしてみても良いのかと考え、新提案に結びつけた。(梨恋)

2泊3日 俺たちの修学旅行 '23

4月、修学旅行への取組がスタートした。総合的な学習と行事を組み合わせ、見学先の選定から電車などを使った行程まで、四人で組み立てていった。計画を立て方、時刻表の見方などを学びながら、「学び合い・認め合い・鍛え合い」ながら、私たちだけの旅を創り上げることができた。
(佑奈)

一目目

- * かつち空港集合
- ↑ 羽田空港
- ↑ 横浜での研修
- ↑ 横浜中華街
- ↑ (夕食)
- ↑ 浜の夕日
- * 東京のホテルへ
- (担当) 梨恋

飛行機だ

初めての飛行機に乗って初めて、中には気圧で耳が痛くなった人もいたが、酔うこともなかったので安心して。窓からの景色(空や海)がとても綺麗で感動した。

カップヌードルミュージアムには、これまでに日清が発売したカップ麺の展示室や日清開設者の像などがあつた。展示物はどれもユニークなものばかりで、楽しみながら観察することが出来た。

カップヌードル試作体験では、4つの味から選んで好きな具を入れ、パッケージを自分好みに色塗りすることが出来るというものだった。私はチリトマト味を選じた。自分にはとても辛く感じた、完食は難しかったが、家で作っているとき



また、1階にはお土産屋さんもあり、店内はとても混雑していた。私は、祖父に人気No.1のチキンラーメンを買い、妹にキーホルダーを購入した。とても充実した体験となった。

修学旅行を組み立てる

見聞を広げる旅へ

地下鉄とシーバス

シーバスは初めてだったので最初は想像もつかなかったが、横浜の景色もよくてシーバス内も冷房が効いていたので快適だった。船内からは、テレビでも見ることがあるような景色をゆっくりに見ることができ、クラゲも見れてよかった。



地下鉄は通勤・帰宅ラッシュとかがぶつたので人の多さに驚いた。でも、つり革を使って電車に乗るのは初めてだったので、ちよっと大人になった気分、楽しかった。また、地下鉄は進むスピードがすごく早くてテンションがあがった。最初、乗り継ぎや移動が大変だったが、乗り継いでいくうちに慣れていってスムーズにできた。

中華街

中華街は、日本語で書かれているが、様々な建物から、深い歴史を感じられたり、中国の雰囲気身に染みて感じるものが出来た。中国人が多かった。

夕飯は(中華料理)日本の香辛料とはちがって苦手な味だった人もいた。それで



マリンタワーはとも高く、足が震えた。でも、ガンダムや観覧車、海や船など横浜を一望することは出来た。タワーからは横浜の都会の夜景が360度見渡せたり、だんだんと辺りが暗くなっていく中、電気がついて更に綺麗になってくる様子を見ることも出来た。ただ、もう少し夜に見たかったなあ。



まず驚いたのは、色んな国籍の人が大勢働いていることだ。アメリカだけでなく、マレーシアなど世界から色々な人が、東京の楽天に勤

またゆっくり見に行きたいと思った。

二日目

- * ホテル出発
- ↑ 楽天本社で
- ↑ 総合の研修
- ↑ 新大久保
- ↑ (昼食)
- ↑ 東京駅・皇居
- ↑ 浅草探索
- ↑ 浅草演芸ホテル(夕食)
- * ホテル到着
- (担当) 佑奈

パソコンで新聞



NEWSPARK

The Japan Newspaper Museum
「新聞の輝」の館に立つ上浦御中学校の3年生
3月30日、横浜・日本大通りの日本新聞博物館で

新聞づくりは普段からやっているけど、難なく進めることが出来た。だが、慣れないパソコンでの打ち込み作業は初めてだったので、少し大変だった。作った新聞は褒められて私はとても嬉しかった。だが、最初で何を伝えたいのかが分からないうちに文章が分らない文章だったと今回の講話などで理解することが出来た。
(梨恋)



物を作る大切さ

楽天市場では、物を多く購入してもらうのが販売の目的ではなく、地域の特産物やいいものをたくさんの人に知ってもらおうと販売目的に掲げられていることが分かった。PR活動では、最初

だが、一度話しかければ緊張はほぐれて本社の人も優しい方ばかりで、楽しく会話をすることが出来た。浦幌町の食料自給率が約3000%という事実には驚く方がとても多く、浦幌の良さを知ってもらえて良かった。

新大久保で韓国料理

韓国料理の店が多く、どの店に入るか迷いすぎて歩き疲れた。韓国の人も沢山いた。

韓国らしい食事ができた。カロリーが高くて量が多かったが、チースたっぶりの料理が美味しく堪能できた。本格的な韓国料理を食べたことがなかったので、とても良い経験になった。



東京駅と皇居

東京駅はとても大きくて迫りもあり、偉大さも感じられて、迫りもある建物だった。また、とても広く迷移送だったが、時間通り集合場所に戻れて良かった。

皇居は思ったよりも駅に近くて、一目見るだけで想像を上回る大きさや迫りを感じ取ることが出来た。



初めての東京駅で、東京駅が買えないものもあって、買うことができた。東京駅の地下は、お土産も充実していた。

最初は、とても大きかった。観光客ももちろん大勢いて、改めて観光名所というところを知ることが出来た。浅草寺は、五重塔と並んでいてかっこ良かった。参拝して合格祈願をすることが出来た。

園芸ホールでは歴史ある生の落語を見た。テレビで見たことのある林家太平さんやあずみさんの落語は、とても面白く、やっぱりさすがだったなと思った。落語を聞きながらの「深川弁当」は格別だった。量は多かったが、アサリなどのとても美味しかった。



雷門は、とても大きかった。観光客ももちろん大勢いて、改めて観光名所というところを知ることが出来た。浅草寺は、五重塔と並んでいてかっこ良かった。参拝して合格祈願をすることが出来た。

園芸ホールでは歴史ある生の落語を見た。テレビで見たことのある林家太平さんやあずみさんの落語は、とても面白く、やっぱりさすがだったなと思った。落語を聞きながらの「深川弁当」は格別だった。量は多かったが、アサリなどのとても美味しかった。



計画から実行へ!

日本の中心地で

三日月

(担当) 伶奈

- * ホテル出発
- ↑ 上野探索
- ↑ 湯島天満宮
- ↑ 上野公園
- ↑ 東京国立博物館
- ↑ 月島でもんじゃ焼 (昼食)
- ↑ 羽田小江戸探索
- * 羽田一とかち空港

上野公園探索

朝からとても暑くて死ぬかと思っただ。上野公園に入り階段を登ると、すぐに西郷隆盛の像を見ることができた。想像よりも大きかった。野口英雄の像や正岡子規の記念碑も見つけることができた。

初めて見たシャイアントパンダはゴロンとしていて、テレビで見ると実際に見るのでは全然違い、クマ科とは思えないかわいかった。愛らしさを持ちながらも、迫りを感じられて、とてもすこかった。時間が少なくてゆっくりの見物はでき

受験を控えているので、学問のお守りをおそろいで買えてよかった。

湯島天満宮

私たちと同じよ、ことは忘れたが、お守りを買うたりおみくじを引いたりして楽しかった。



上野動物園

初めてのもんじゃ焼き。作るのが難しかったが、教えてもらいつつ、楽しみながら食べる事ができた。一人前の量が多くてびっくりした。

昼食はもんじゃ焼

初めてのもんじゃ焼き。作るのが難しかったが、教えてもらいつつ、楽しみながら食べる事ができた。一人前の量が多くてびっくりした。



東京国立博物館

前から見たかった恐竜の化石や、たくさん動物の剥製を見ることができ、自然界の壮大さを感じられた。シロナガスクシラのオフジエがとても大きく、HPでも剥製の様子を見たことはあったが、比喩物にならないくらい迫りがあった。壮大な歴史を学ぶことができた。東京に行った際はまた行きたい。

多くの方々のご協力に感謝して

特に楽天でのPR活動では、うらほろ樂舎の本間さんや大飼さん、そして本社の〇〇さんを始め沢山の皆様にお世話になりました。そのお陰で浦幌町のことをもっと色々な人たちに知ってもらうことが出来ました。

また、アンケートやいただいた声から、「今後の浦幌に向けて」の考えやアイデアをより深く、納得のいく発表につなげることが出来ました。

先生方を始め皆さんの協力がなかったら、このような貴重な体験はできませんでした。関わっていただいた皆さんに感謝しています。



思い出の行事を振り返る

私たちの修学旅行句集

修学旅行では、手作りのしおりを活用して、旅行を続けた。このしおりを使って毎日その日の反省や思い出を書き込んだ。そして、国語で学習した『奥の細道』をまねし、毎日俳句また川柳を書いてみた。前のページなどの旅行記とともに、句集を作ってみた。(航)

【一日目】人混みで、荒れ狂う都市に悩む我。お土産を、初日から買う。ああ荷物。中国人あふれるオーラ。ちと恐怖。(佑奈)

初めての横浜行って、足痛む。(佑奈)

人混みも、暑さも全部、思い出した。(梨恋)

修学旅行初日の行動、すっかりできた。(航)

【二日目】東京で、暑い中見た、あの景色。友達に、助けられた。一日だ。(佑奈)

新大久保、美味しい食べ物。自主研修、自分で行動、大きく成長。韓国で、念願のごはん、胃が重い。バスを見る、応援したくて。(佑奈)

言葉を使って、オリジナルのTシャツを作ってくれました。先生も、かめてらんで、最後の運動会に出ました。皆に、うらやましがられるほどの出来映えて、とても嬉しかったです。このTシャツを、修学旅行ではおそろいのバスマにして寝ました。心のこもった、思い出になるTシャツ。本当にありがとうございました。



先生の赤いTシャツは教室に飾ってあります

感謝を込めて



三年生のお母さん方が、私たちの最後の運動会のために、学級通信で先生の書いていた

☆札幌から変更になって楽しみも増えた分、不安も勿論増えた。準備も大変だった。でも、ものすごく準備を頑張った結果、当日は楽しすぎて、不安だったことも忘れていた。★今までの先輩たちよりもたくさん場所を探して、知識も増えたので、とても内容の濃い3日間となった。★自分としては、実行委員長としてみんなを引っ張っていく中で、確実に成長できたと思う。★学級としても、お互い助け合っ

修学旅行で大成長!

て行動していく中で大きく成長することが出来たと思う。(佑奈) ☆飛行機に乗ることや、横浜や東京に行くことなど全てが初めての体験だったが、とても良い思い出ができた。思い出ができて、た★電車の乗り降りや町中を歩いたりなど、あまり日頃から経験しないことで足が痛くなったり慣れないことも沢山あったが★楽天の本社に行つてPR活動したことは、私やみんなにとつても力になった。(佑奈) ☆しおりをしっかりと確認し、時間を守って五分前行動をするこ



【二日目】三日間の有意義な時間、今はさみし。(梨恋) 最終日、お土産たくさん買って来た。(航) 長い距離、汗水流し、疲れた。江戸の中、楽しく買い物、ああ愉快。都会から、都舎に戻る。喪失感。(佑奈)



離れてく、眼下の景色、もどかしさ。(佑奈)



【一日目のマル秘・珍事件】車で空港に向かっている最中、ハイキューの歌を熱唱して叫んでいたら母親に怒られたこと。叫びすぎて喉が枯れたこと。ホテルのお風呂の温度を間違えたこと。寝るときに、三人(女子)で横に並び、布団を繋いで寝た。ホテルの2つのベッドをつなげて3人でくっついて寝たこと。朝起きたら、ケツ(おしり)がベッドから落ちていた。

思い出の行事を振り返る

とき、航の部屋で写真を撮った後、私が航のお菓子を盗み食いしたこと。二日目も女子3人で固まって寝た。ホテルで自分の部屋のキーカードを部屋に置いたまま部屋を出して、まう所だったこと。

【二日目の：珍事件】ホテル到着後、バスケットホールで日本対ベネズエラの試合の放送を入れて見ていたら、気づかないうちに応援に熱が入っていて、りことに「うるさい」と怒られたこと。(眠れなかった!) 日本代表、パリ五輪出場おめでとう。

【三日目の：珍事件】上野公園近辺を散策していた時、音楽で習ったイタリアの曲「帰れソレントへ」が脳内から離れなかったという佑奈が、ずっと歌っていたこと。おばあちゃん達が、ひかれて停止させ、先生方にとつても誉められたこと。帰りの飛行機で、梨恋が耳鳴りがして耳をお

さえて寝ていたこと。朝起きたら、床で寝ていたこと。三日目の朝、佑奈が6時だと思つて私と梨恋を起したけど、時計を見たらまだら時だったこと。(結局みんな寝ました) 自分のお小遣いで、家族やいところ、横浜や東京のお土産を買

編集後記

今年三年目となる学級新聞。題名は『一期一会』。私たちの仲間、そして特に修学旅行で協力してくださった方々との出会いに感謝して、この題名をつけた。

今年、学級新聞は、国語と総合の授業で書きたためた文章を再編集して制作した。思い出の詰まった学級新聞になったので、隔々まで読んで欲しい。

(委員長・梨恋) 大西佑奈・岡田佑奈 関口梨恋・松村航 (題字・書・佑奈)

